

平成26年度6月分

板橋区ホタル生態環境館ビオトープ（実験水路）管理  
およびホタル飼育・水質管理検査業務

月間活動報告書

（株）自然教育研究センター



## 6月分業務報告書

### 【来館者及び対応者実績】

#### ◆入館者・対応者

・今月の一般来館者は下表の通りでした。

日付	対応時間	人数		備考
		大人	小人	
6月1日	15:00～15:30	2	0	
6月8日	15:05～15:40	4	1	
6月15日	15:00～16:00	7	0	
6月22日	15:05～15:45	2	0	
6月24日	14:05～15:40	1	0	
6月29日	15:00～16:27	6	2	
合計		22	3	

ゲンジボタルとヘイケボタルの成虫の生体展示を見てもらいながら、両種の違いを解説したり、実際に成虫を手を持ってもらいホタルの発光器についての説明などを行いました。来館者の方からは「初めて触った！」や「こんなに小さいんだ！」といった声を聞くことができ、昼間のホタルの姿を観察してもらいました。また、展示しているパネル一枚一枚をじっくりと読んでいく方や、それぞれのパネルを写真に収めていく方もいました。今後多くの方に楽しんでもらえるように、ホタル生態環境館ならではの解説活動を続けます。

#### ◆取材および視察対応

・今月の取材および視察対応はありませんでした。

### 【解説活動の実績】

#### ◆プログラム

・今月は実施したプログラムはありませんでした。

#### ◆展示関係

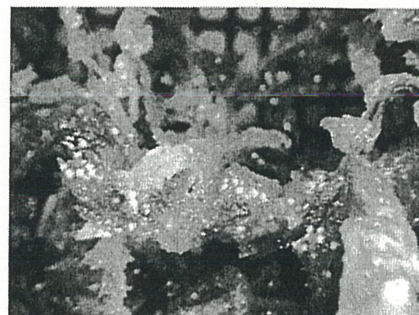
・4月から準備を進めていた学習室の展示が完成しました。来館者の方に展示物を眺めてもらうだけでなく、解説員がそれぞれの展示に沿った話を展開していき、ホタル生態環境館に足を運んでくれた方の記憶に残るような解説活動を行います。



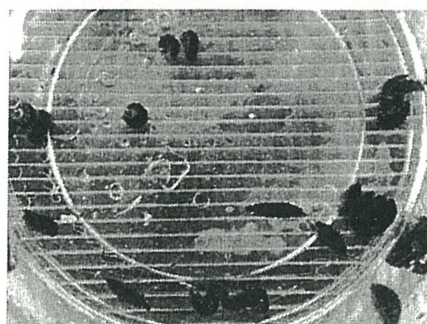
ホタル成虫の羽化確認 結果一覧(6月)

実施日	確認時間	ゲンジボタル						ヘイケボタル							
		せせらぎ水路		ピオトープ		水槽		せせらぎ水路		ピオトープ		飼育室		水槽	
		オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス
6月1日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月7日	19:30~20:00	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
6月11日	日中	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月12日	19:30~20:30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6月14日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月16日	20:00~21:00	30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月18日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月20日	20:00~21:00	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月21日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月25日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月28日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月29日	日中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月29日	19:30~20:30	6	4	0	0	0	0	30	3	0	0	0	0	0	0
合計		47	10	0	0	1	0	30	3	0	0	1	2	0	0

・せせらぎ水路で捕獲したゲンジボタルと、飼育室で捕獲したヘイケボタルは、それぞれ学習室に設置した採卵箱内にて飼育を始めました。数日後には水苔に卵が付着しているのを確認することができました。次世代の命を繋げていけるように、慎重に飼育を行います。

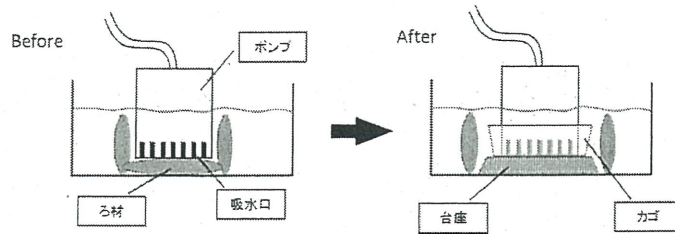


・先月から準備を進めていた上陸水槽が完成し、水質を安定に保った後、水槽内で飼育していたヘイケボタルの幼虫（トラップで捕獲されたとされる個体、合計28匹）を投入しました。翌朝、水中には5~6匹の幼虫しか確認できなかったことから、一晩で大多数の幼虫が上陸したものと思われます。順調に行けば約3週間後の7月中旬には羽化すると予想します。





- ・ビオトープ横の池のポンプは、落ち葉や池の堆積物を吸い上げて頻繁に目詰まりを起こしていました。そこで、ポンプ本体を池の底から浮かして、さらに落ち葉などが容易にポンプに吸われることがないように工夫しました。今後も池の様子をこまめに確認して、池の維持管理に努めます。



#### 【施設管理】

- ・ホタル生態環境館の南側道路にある街灯は、夜になると学習室内を煌々と照らし出します。ホタルの採卵を行うためには室内を暗闇にしておく必要があるため、学習室の窓に暗幕を備え付けました。

- ・6月中旬に施設入り口の樹木にスズメバチが営巣しているのを発見しました。巣は初期段階のものであり成虫の数もごく僅かであったため、通行人や学校の児童に気を配りながら、巣を撤去しました。女王蜂と働き蜂はすべて捕獲して事なきを得ました。敷地内には他にも蜂の巣が作られている可能性があるため、今後は定期的に見回りを強化して蜂刺されが起こらないように注意します。

